

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 638 号

2014年8月1日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町卯新田上28

2013年度 アルミ缶リサイクル率83.8%

アルミ缶リサイクル協会（白井啓一理事長）は、このほど2013年度（平成25年度）の飲料アルミニウム缶のリサイクル率を発表した。

これによれば

・アルミニウム缶回収量

254,509トン（161億缶6千万缶）

・アルミニウム缶消費量

303,830トン（194億缶）

・アルミニウム缶リサイクル率

$$\frac{\text{回収重量 (254,509トン)}}{\text{消費重量 (303,830トン)}} = 83.8\%$$

・CAN TO CAN率

$$\frac{\text{缶材向け重量 (174,184トン)}}{\text{回収重量 (254,509トン)}} = 68.4\%$$

CAN TO CAN率は回収された缶のうち、缶材として利用された割合で、缶材以外としては鋳物用、ダイカスト用、製鋼脱酸材用などに利用される。

前年度と比較すると

アルミニウム缶回収量 -10.8%

アルミニウム缶消費量 +0.9%

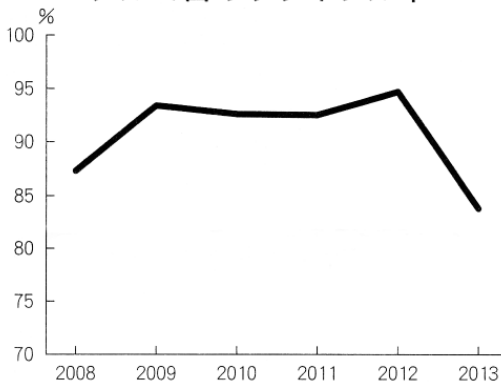
リサイクル率 -10.9%

CAN TO CAN率 +1.7%

2012年に、韓国向けアルミニウムスクラップ輸出が急増、37,012トンに達し、このうち30,000トンはアルミニウム缶スクラップと推定される。

2013年は前年より20,000トン増加して57,680トンに達した。この増加分も缶スクラップと考えられ、50,000トンが韓国で缶材にリサイクルしたと推定される。これを考慮すれば、リサイクル率は98.4%と考えられる。

アルミ缶のリサイクル率



夏 季 休 日

の ご 案 内

まことに勝手ながら下記のように連休とさせていただきますのでご案内を申し上げます。

8月10日(日)より

8月17日(日)まで

LMEアルミ2,000ドルを回復 1年5ヶ月ぶり

2,000ドルを回復

アルミニウム国際相場の指標であるロンドン金属取引所（LME）のアルミニウム相場が、7月22日に1年5ヶ月ぶりに3ヶ月先物が2,042ドルと2,000ドル台を回復した。

LMEのアルミニウム市場では、下掲のグラフの示すように2013年は一貫して下げ相場となり、ようやく本年3月を底に反転した。

相場反転の理由として、LME指定倉庫のアルミニウム地金の在庫が1年10ヶ月ぶりに500万トンを割り込んで、その後も減少が続いていることが大きく伝えられている。

金属市況全体は

非鉄金属市況全般について見ると、過去1ヶ月間の値動きの状況は、

アルミニウム	+10%
亜鉛	+8%
鉛	+3.6%
銅	+0.6%
ニッケル	+0.4%

錫 -2.1%

と全体的に値上りを示しているが、アルミニウムの急上昇が目出ている。

このように非鉄金属市況は好転しているが、国際鉄鋼市況は反対に不況色が強い。

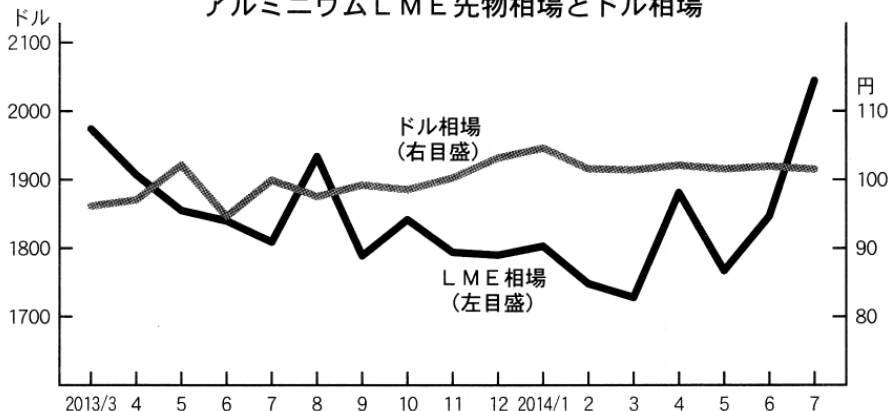
今後の見通し

アルミニウムの製造原価は、国際的に見て大きくエネルギー事情が影響して大差があると考えられる。しかし一般論として2,000ドルを下回ると過半数のメーカーは赤字操業と言われる。

このため過去1年半に及ぶ低位マーケットで徐々に減産の影響が表面化してきたものと理解したい。アルミニウムの製錬業は設備の問題から減産が比較的困難である上、国営企業あるいは半国営企業も多く、生産の弾力的なマーケット対応に問題がある。

一方、原価の過半を占めるエネルギー市況は過去1年ジリ高に推移して、製錬コストを圧迫しつつきてきた。このような事情が、時間とともに市況に反映してきたと考えたい。需要面では最も安定している金属で、現状の市況で推移が望まれる。

アルミニウムLME先物相場とドル相場



産業新聞
6月19日号より



新工場を “観光名所”に

天野卓アスカ工業社長

「新工場に移り安全面が改善され、外部からの見学依頼なども受入れやすくなった。今後、さらに見学ルートの整備を行なうとともにホームページなどでも積極的に受入れをアピールすることで、新工場を西尾市の『観光名所』の1つとしていければ」と語るのはアスカ工業の天野卓社長。

同社は中部地区に拠点を置く大手アルミ2次合金メーカー。2012年に西尾市内に新工場を設立。国内最新鋭の設備と蓄積されたノウハウで、良質な製品供給を行っている。

直近の生産に関しては「月2,500トン前後で堅調に推移している。4月以降は厳しさを見込んでいたが、想定内の動きにとどまっている。下記は回復を期待する声も多く、一定の需要水準を保つことができるのではないか」との展望を示す。

新工場に移転して約2年が経過したが「やっと新設備の効果を発揮できるようになってきた。新設備のポテンシャルを引出すには一般的に3年かかるというが、まさにその通り。弊社でもまだまだ進化できる余地があり、さらに効率化を進めたい」と身を引き締める。

(服)

第51回アスカセミナー

10月3日・4日
吉良観光ホテル

アスカ工業株式会社では、昭和39年の秋に第1回アスカ・セミナーを開催した。以降、秋の年中行事として好評のうちに回をかさね、本年は第51回目のセミナーをむかえることになった。

第51回アスカセミナーは、

- ・10月3日（金曜日）4日（土曜日）
- ・会場 吉良観光ホテル（三河湾国定公園）

で挙行のはこびである。

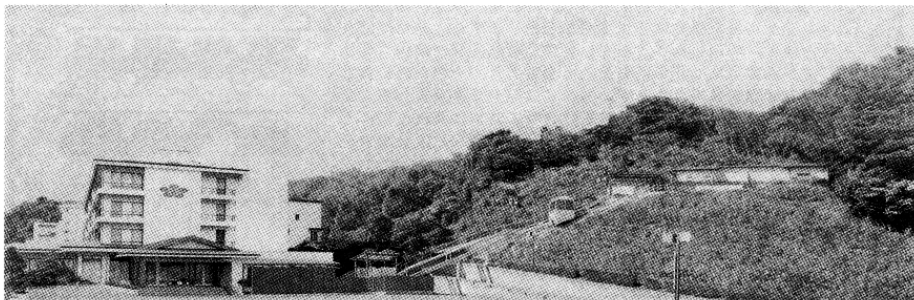
セミナーの講師は毎年各界のエキスパートが選ばれる。目下慎重に人選中で、近日中には発表の予定である。

懇親ゴルフ・コンペは10月4日午前スタートで吉良カントリー・クラブ（吉良町乙川）が予定されており、例年どおりの熱戦が期待されている。

アスカ・セミナーは毎年有益なセミナーを行い、その後盛大な懇親会を挙行して、秋の夜長を心ゆくまで「きらの里」を味わい楽しむよう年ごとに企画されてきた。

本年秋も全国から大勢様のご参加とご協力を得て、例年以上の盛大なセミナーの挙行ができるよう大きく期待されている。

(写真下・吉良観光ホテル全景)



大提灯まつり

西尾市の一色町諏訪(すわ)神社で、8月26日、27日天下の奇祭「大提灯まつり」が行われる。

その昔、この辺りの海岸に出没した海魔の退散を祈願した大カガリ火が起源と伝えられ、12張りの大提灯に大口一ソクで点火する時が最高潮。(写真)



社内情報

- ◎ 7月28日から31日まで、愛知県立鶴城丘高等学校の生徒さん2名がインターンシップを行いました。ご関係先の皆様方からもご指導とご協力をいただきました。厚くお礼を申し上げます。
- ◎ 例年のように、工場内の各工程の見学、実習などたくさんの内容が準備されていました。
- ◎ 夏季休日を1頁所報のように行いますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

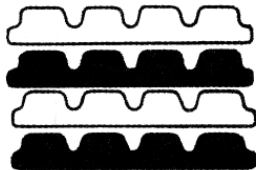
編集後記

- ☐ 暑中お見舞いを申し上げます。
- ☐ 西尾市吉良町のきら・ワイキキビーチで、8月25日(月)から6日間、ハワイアン・フェスティバルが行なわれます。
- ☐ ハワイから「ポリネシア・カルチャー・センター」のダンサーが来演します。国内からは28団体860名のフラダンサーが参加して大競演会が行われます。
- ☐ 名鉄吉良吉田駅から会場へは無料バスが運行します。

アルミ缶リサイクリング 鋳造用アルミニウム合金地金



アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガ、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鋳造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303
愛知県西尾市中畑町卯新田上28
TEL <0563> 77-0500 代
FAX <0563> 77-0501
<http://www.al-asuka.jp/>